

「とよなかブックプラネット事業」は、学校図書館と市立図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、児童生徒の読書活動を促進するため、平成25年(2013年)4月に読書活動支援システムの導入を完了しました。学校図書館では、整備された環境を活かして、子どもたちの読書意欲に応えるだけでなく、授業づくりに役立つ資料集めなどお手伝いします。ブックプラネット通信では、学校図書館での取り組みなどを紹介していきます。

世界から注目される豊中の学校図書館！

バルセロナの児童文学研究者、中豊島小学校を訪問

訪問日：平成30年(2018年)12月11日

スペイン・バルセロナから来日中の児童文学研究者 Dr.Joan Portell Rifà さん（以下ジョアンさん）が、日本の学校図書館の実態調査のため中豊島小学校へ視察訪問されました。当日はコーディネーター役の大阪教育大学 森田英嗣副学長、メキシコ等スペイン語圏からの留学生ら計6名で来校。学校図書館を中心に学校全般を見学されました。5年生の図書の間では、ジョアンさんによるスペインの伝統的絵本の読み聞かせや子どもたちとの質問交流タイムがありました。



左端：森田副学長 右端：ジョアンさん

カタルーニャ語で
読み聞かせ（日本語通訳つき）



読んでくださった絵本

『La rateta que escombrava l' escaleta』



この日は読み聞かせ
ボランティア・ブチトマトさん
の訪問日でした（ジョアンさんも見学）

森田副学長へジョアンさんの所感を伺いました（直接お聞きする時間がありませんでしたので…）

ジョアンさんが以前訪問した日本の学校図書館等と比べて、豊中の学校図書館が進んでいることをよく理解され、感心されていました。豊中での読書を通じた人間形成や地域の方々とのつながりづくりなどは重要だと思われていたようです。読み聞かせは大変楽しくされていて、子どもの素直な反応がうれしかったようです。読んだ後で、物語についていろいろと話をする時間をとり、子どもたちと感想をやりとりすることも、読み聞かせの重要なポイントだということを再認識しました。最後には、充実した視察で豊中の読書環境づくりには大変感心したとおっしゃっていました。

第三中学校でのキャリア学習より ～将来の夢とは？ 働かってどんなこと？～

第三中学校、司書の新谷さん取材しました



11月1日に、第三中学校の1年生がキャリア教育の学習を学校図書館で行うと聞き、読書振興課職員が、早速取材に出かけました。将来の自分の夢とは？…働かってどんなこと？などを考える授業です。保護者の方々など、様々な職業の方20名ほどをゲストティーチャーとしてお招きし、各教室にわかれてお話を伺います。グループごとに話を聞いたのち、新聞作りをし、お礼状を書いたそうです。質問したり、思いを新聞につづったりする中で、新しい発見があったようです。ゲストティーチャーとして、看護師、パティシエなどとともに、学校司書の新谷さんも授業をされました。

学校司書の仕事って、大変なの？～人と本をつなぐ仕事～

新谷さんは豊中の学校図書館で働いて11年目。「みんなの中には、どんな仕事に就くかで悩んでいる人もいるかもしれないけれど、将来の夢はまだふわふわしたものでいいんだよ。私が公共図書館で実習したとき、子どもとのコミュニケーションがとても楽しかった。私は、人が好きで本が好き。人と本をつなぐ仕事、本の楽しさを伝える仕事がしたいと思いました。そこで、働くなら子どもとの距離がより近い学校図書館で働きたいと思うようになりました。」と笑顔で話してくれました。また、具体的に学校司書の仕事内容についても聞きました。みんな真剣にメモをとりながら、耳を傾けていました。



最後に生徒からの**質問タイム**がありました。どんな質問をするのかなあ…

生徒さん：三中で人気の本は何ですか？

新谷さん：「無職転生」（理不尽な孫の手作、カドカワ）などの異世界ものや青い鳥文庫の「探偵チームKZ（カッズ）シリーズ」（藤本ひとみ原作、住滝良作、講談社）です。

生徒さん：やりがいを感じる時はありますか？

新谷さん：利用してくれるみんなが喜んでくれているときに、すごくやりがいを感じます。

生徒さん：これからの目標は何ですか？

新谷さん：「図書館は成長する有機体である」という有名な言葉があります。今日より明日、明日より明日後日、日々この三中図書館を成長させていきたいです。



などなど。たくさん質問ができました。



生徒からのお礼の手紙も拝見しました。一部紹介します

～これ！と思える仕事を見つけたい～

大学を卒業して仕事についたら、その仕事をずっとやっていかなければいけないと思っていたけど、お話を聞いていてチャレンジすればいいんだと思いました。新谷先生のように色々な仕事をして、行き着く職はこれ！と思えるような仕事を見つけたいなと思いました。

～司書って楽しそう～

新谷先生は図書館の司書さんとして、とても楽しそうに仕事をしていて前から興味を持っていました。今回でさらに、この仕事はやりがいがありそうだなと感じました。そして、先生の話の中で図書館は人と人をつなぐ場所というのがすごく心にひびきました。どの本も大切にみついている新谷先生はとてもかっこいいなと思いました。これからもがんばってください。

～仕事はきびしいだけでなく、楽しいこともある。人と関わる仕事がいいな～

今回の講話でおもしろい本を知れてよかったです。マンガばかり読んでいたけど小説も読んでみようかなと思いました。仕事はつらい事、きびしい事もあるけど楽しいものだと分かりました。また、人と人のつながりは大切に楽しいと思いました。自分も人と関わっていく仕事につきたいなと思いました。

～スマホじゃなくて本で調べてもいいかなあ～

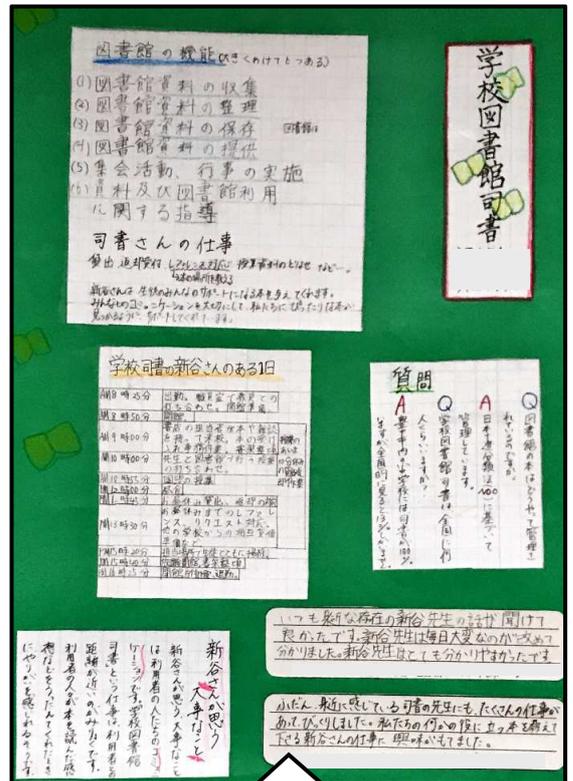
調べものは、スマホで調べれば良いと思っていましたが、今日のお話を聞いて本で調べてみてほしいかなあと思いました。

～いろんな本を読みたい～

ぼくは新谷先生の話聞くのがとても楽しみでした。ぼくは新谷先生の話にとっても夢中になりました。配られたプリントにはいろいろなことが載っていたので「そうなんだ。」と思いました。いろんな本を読みたいなと思いました。

～三中の本って、2800万円！びっくり～

この三中には1万3000冊の本がありその本をお金にかえると2800万円ほどにもなることを聞いてすごくびっくりしました。そのたくさんの本を整理するのはとても大変だろうなと思いました。



心のこもった壁新聞も
見せてもらいました

昼休みの学校図書館…ほっとできる場所

三中の昼休みの学校図書館にもお邪魔しました。たくさんの生徒がいっぱいやってきました。3人掛けのソファ席に5人ぐらいの生徒が、身を寄せ合って楽しそうに本を読んでいます。また、カウンターにはいろいろな生徒が入れ代わり立ち代わりやってきます。本の話やテストのこと、日々のたわいもないことを新谷さんに話に来ます。学校図書館が、なんとなくほっとできる場所になっているように感じました。

子どもたちの発表、見に来てください！



読書活動フォーラム、アクア文化ホールで2月開催

開催日：平成31年（2019年）2月2日（土）13：30～16：10
（12：45開場、入場無料、申し込み不要）

7回目となる「子ども読書活動フォーラム」。今回は、あの『ざんねんないきもの事典』を監修された動物学者・今泉忠明さんの講演会があります。

そして、第3部のビブリオバトルは第一回目となる記念すべき大会！校内選抜を勝ち抜いた生徒もいれば自ら立候補して出場する生徒もあり、熱戦が繰り広げられること間違いなし。「図書館の達人」優勝グループのプレゼンテーションにも注目してください。

ロビーでは、今泉さんの講演にちなんだ児童生徒の作品展を同時開催。「読みたい、知りたい、伝えたい」がてんこ盛りの読書フォーラムへ、ぜひお越しください！

第1部 13：35～

今泉忠明さん講演
「ざんねんだけど、
がんばって生きている
～どうぶつたちの進化のはなし～」



第2部 14：50～

「図書館の達人」
代表グループ発表と表彰



代表（出場）
グループ
第三中 2年
北丘小 4年

第3部 15：20～

第1回豊中市ビブリオバトル
チャンピオンシップ 中学生大会 決勝大会



出場者
第一中 第九中
第三中 第十一中
第六中 第十六中
より各1名

12：45～16：20頃まで

児童生徒作品展 ロビーで開催

事前企画展①

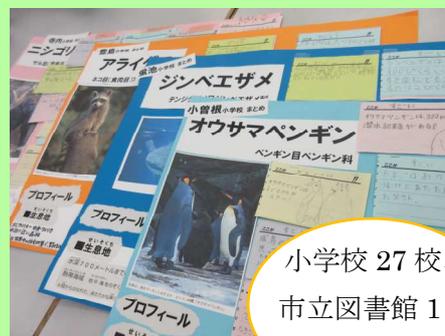
「ここが〇〇！動物事典～豊中っ子まとめ～」

動物について、本で調べたり動物園で実際に見たりする中で、みんなの心が動いたところをカードに書いてもらい、集めました。動物の普段気づかない意外な一面が見られる楽しい展示です。フォーラムでは28点の動物調べが一堂に集結。豊中っ子まとめのオリジナル動物事典が完成です！

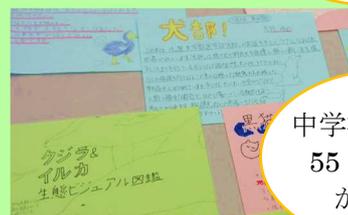
事前企画展②

「テーマは動物。おすすめ本教えます」

動物をテーマとするおすすめ本のPOPを中学校で集めました。美術部による力作や、動物好きの生徒による図鑑の紹介、図書委員によるPOPなど見ごたえ十分。POPで紹介された本も一緒に展示します。



小学校 27校、
市立図書館1館
で実施



中学校 5校から
55点のPOP
が集結！